

© 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

3年間保存

K3-132

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容
油圧装置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	✓作動、油漏れ、✓取付、✓異音、異常発熱	✓目視、✓操作、✓聴診、✓触診	✓	
	29	回転継手	✓回転状態、油漏れ、✓異音		✓	
	30	オイルクーラー	✓冷却効果、目詰まり、✓変形、✓損傷、油漏れ ✓モーターの異常振動、✓異音、異常発熱	✓目視、✓聴診、✓触診	✓	
	31					
操作	32	操作レバー	✓ストローク、✓がた	✓目視、✓操作、スケール	✓	
	33					
安全装置	34	下部架台フレーム、ブラケット	✓亀裂、✓変形、✓ゆる動部摩耗、✓取付	✓目視、スケール、探傷器	✓	
	35	旋回フレーム、ブラケット	✓亀裂、✓変形、✓取付	目視		
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	✓引っ掛かり、✓異音、✓ギヤ亀裂、✓摩耗、✓取付、✓ール損傷	✓目視、✓操作、✓聴診、トルクレンチ	✓	
	37	旋回減速機	✓異音、✓異常発熱、油漏れ、✓汚れ、✓油漏れ、✓取付	✓目視、✓操作、✓聴診、✓触診	✓	
	38	旋回ロック	✓効き、✓亀裂、✓損傷、油漏れ、ホース損傷、✓老化		✓	
	39	レバーロック、ペダルロック	✓効き、✓損傷、✓変形	✓目視、✓操作	✓	
	40	キャブ、カバー	✓亀裂、✓変形、✓腐食、✓雨漏り、✓ドア等開閉、✓ロック、✓キー作動、ガラスのがた、✓損傷		✓	
	41	カウンターウエイト	✓取付	目視、スケール	✓	
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	✓作動、✓損傷、✓取付	✓目視、✓操作	✓	
	43	昇降設備、滑り止め	✓亀裂、✓損傷、✓変形、✓取付	✓目視	✓	
車体関係等	44	表示板	✓損傷、✓取付		✓	
	45	灯火装置、警告器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	✓作動、✓取付、✓レンズ損傷、✓浸水	✓目視、✓操作	✓	
	46	計器類	✓作動	✓目視	✓	
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	✓汚れ、✓損傷、✓写影		✓	
	48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	✓目視、✓操作	✓	✓ L
	49					
	50	総合テスト	✓作動、✓異常振動、✓異音、異常発熱	✓操作、✓聴診、✓触診		
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	✓触媒等の緩み、✓損傷、✓排気温度警告装置の配線緩み、✓損傷、✓排ガス減少装置のホース、✓パイプの緩み、✓損傷	✓目視、✓聴診、レンチ等	✓	
	★					

次回特定自主検査実施年月 30年11月

点検者 水、おさ 検査して下さい

事業者への要請等

照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容
1	マフラー	29.11.2	交換
4	7327-UL	29.11.3	調整
10	2410n1	29.11.7	交換
48	742	29.11.9	注入

備考

1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。

2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。

3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。

4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。

5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。

記号

交換 分解交換 修理 調整 締付 清掃 給油水 該当なし

× ⊗ △ A T C L -